

2008年度 第3回資源・リサイクル小委員会議事録

1. 日 時 2009年3月18日(水) 10:00~11:00
2. 場 所 富士見坂校舎1階遠隔講義室
3. 出席者 近藤、勝又、碓井、加藤、和田、
【環境センター事務局】榎本

4. 議 題

議題に先立ち、前回、前々回の議事録の承認を行った。

(1) 一般廃棄物、コピー、リソ、OA用紙(2月まで)の実態報告

一般廃棄物について事業室より市ヶ谷は2月末現在で目標値より9%オーバー、多摩は21%オーバーという報告があった。今後の取り組みとして、蛍光灯をゴミとして廃棄せず、業者が引き取る方法に変えることで、ゴミを出さないことになるので、これを推進していきたいとの発言があった。OA用紙関係は碓井座長より使用量ランキングの多い部局の理由を、パフォーマンスチェック票等による説明報告があった。主な理由としては学生問題による資料増加(学生センター)、新システムへの転換による説明資料の増加およびデータ照合のための印刷枚数の増加(学部事務課、大学院)、オープンキャンパス来場者数に伴う企画充実に起因する資料提供の増加(入学センター)、学科再編のための資料の増加(現代福祉学部)など報告があった。なお富士見坂教授室の目標値比が209%と突出しているが、目標値の設定が2007年度実績の50%程度となっており、市ヶ谷全体の教授室で合算すると2月現在の数ではあるが、2007年度430万枚、2008年度421万枚で著しい増加は見られないという報告があった。

(2) 一般廃棄物、省資源に関する監視測定手順の見直しについて

事業室より、省資源の推進に関する監視・測定手順に示しているこれまでの毎月ごとに報告していたOA用紙使用量を3カ月毎に変更したいとの提案があり、全委員の承認を得た。なお書式については関連部局でつめることとした。

(3) 2009年度の目標値とグリーンキャンパス創造計画の見直しについて

委員より一般廃棄物の削減の目標値が妥当性をやや欠いているので修正したいとの提案があった。2007年度には新入生が急激に増えているにもかかわらず2006年度の学生数を基準値の算定に用いているので、実現が困難な状況である。また新学部の設置により学生数も増えているので(デザイン工学部、スポーツ健康学部など)、基準値の見直しもその都度反映した方がよいとの意見があった。結論としては、2009年度の目標については、基準値を2007年度実績に設定し、2009年度で2%を削減することで合意を得た。また、今後目標値を算出する際には、省資源の目標値設定方法と同様に、該当年度に発生した学部設置、事業計画の変更、学生数の著しい増加等の目標の算出に著しい影響を与える要因を考慮することとした。細部にわたる変更は事業室、環境センターを中心に修正をすることとなった。

以上